令和6年度　RKC調理製菓専門学校　学校関係者評価報告書

開　催　日　時　：　令和7年5月12日（月）　17:00　～　18:00
開　催　場　所　：　RKC調理製菓専門学校　応接室
出　席　委　員　：　松岡貞弘委員、畑山稜委員、島村裕人委員、山岡よし子委員
学校側出席者　：　島村昌利学校長、濱窪奈緒美教務部長、村田智之事務長

＜議事＞

定刻となり、濱窪教務部長が開会を宣するとともに、出席委員及び学校側出席者の紹介を行った。まず、議事に先立ち学校長があいさつに立ち、出席委員に謝意を伝えるとともに、本日の会では忌憚のないご意見を頂き、その意見を活かしてより良い学校となるよう努めていきたい、とあいさつした。

次いで濱窪教務部長が、令和6年度についてはほぼ予定通りのカリキュラムで終了できたこと、また就職希望者については、パート・アルバイトを含めて全員の就業がかなったことを報告した。

続いて「自己点検・自己評価報告書」に沿って説明、報告が行われた。

まず、教務部長が「学校の教育目標」及び「令和6年度に定めた目標や計画」について報告を行った。

実社会に役立つ職業人を養成し、調理技術や専門知識はもとより、創造性に富んだセンス、健康維持のための科学的知識等の修得も目的である。

変化する社会情勢に対応できる職業人の輩出に努め、高い就職率の維持はできているが、相変わらず、離職率が高い。就職先でのミスマッチを防ぎ、どう減少させていくかが、課題であると報告した。また、令和5年は80％を超えていた製菓衛生師国家試験の合格率が約50％強であったことについては、学習アプリを導入するなど、合格率の向上に努めていること、前年は1人いた退学者は一人も出すことなく、全員が卒業したことを報告した。

続いて「評価項目の達成状況、取組状況、及び課題点など」について、村田事務長より以下の説明、報告があった。

全ての項目において教職員による自己点検の平均点は、「ほぼ適切」以上の評価であった。

（1）教育理念、目標など

建学の精神等は、全生徒に配布する冊子「学校生活の心得」に記載し、入学時に全生徒に配布し、オリエンテーションで説明・周知を図った。社会人・職業人となるための心構え等も、就職活動時期を中心に事ある毎に周知した。

（2）学校及び施設の運営、管理

学則に定める教職員数は充足しているが、小規模であるため、専任の教職員全員参加の職員会を必要に応じて開き、計画通り遂行できているか、確認・検証している。

（3）教育活動

各教員が授業評価アンケートを行うなど、指導力の向上に努めている。

就職指導は、クラス担任を中心に指導担当教員らと協力し、きめ細かくサポートしている。

（4）教育環境

施設・設備については県の管轄部署の施設指導調査でも指摘事項はなく、点検等も専門業者に依頼して定期的に行っている。年1回の消防訓練等も実施している。

（5）学生支援

クラス担任・副担任が相談等については担当している。生徒数が多くないので全教職員が目配せをし、相談しやすい環境作りに努めている。参観日を設けたり、連絡が必要であれば保護者にも連絡する体制をとっており連携はできていると考えている。退学者は0人。独自の奨学金制度は整備はしているが制度活用者は数年に1名程度で、公的奨学金や就学支援金などで対応している。

（6）学生募集

納付金は適正な額であり、募集要項に詳細を記載している。ホームページでも閲覧可能。募集活動は学校見学会の実施や各高等学校での学校説明会の場を活用。CM放送やホームページ、インスタグラム等も活用している。

（7）財務

決算書類等は学校事務局にて閲覧可能（ホームページでも周知）である。会計監査は、監事2名により実施。

収支改善のためには入学者数の増加が不可欠だが、子どもの数の減少に歯止めが掛からない中、転職組や定年退職者などの社会人へのアプロ―チが重要となってくる。

（8）法令順守

個人情報保護や各種申請・届は適切に行っている。自己評価の結果及びこの委員会の議事録はホームページで公開している。

（9）社会貢献

ボランティア団体に協力し、年2回学校で献血活動を行っている。中央公園や高知駅周辺の清掃活動に参加したり、皿鉢まつりなど地元イベントへの協力も行っている。

以上の報告を受け、教務部長が報告書への意見や質問、また学校への意見・要望について、出席委員に求めた。

〈畑山委員〉

「建学の精神の明示」や「個人情報の保護体制」が評価『3』なのはなぜ？『4』ではないのか？

→ 実態は『4』であると考えている。が、教職員数名による自己採点の評価の平均値なので、数字としては『3』になってしまっている。教職員への認識の徹底を行う。

〈松岡委員〉

「学生募集」で「学校説明会の場を活用」とあるが、どこまでの範囲の学校で行っているか？

→ 専各連の担当から県内全高等学校に「学校別説明会・職業分野別説明会」のご案内を出し、開催依頼のあった学校に出向いている。年間20回程度の開催。

〈山岡委員〉

「高等課程」もあるので、中卒の入学生もいると思うが、中学生に対してのアプローチは？

→ 専各連の会議でも中学生に対する説明会の実施の必要性は議題として出てきた。現在1校から依頼が来ている状況で、開催校を広げていきたい。ただ、県下全校となるとかなりな数になるので、最初は市内近隣の中学校から始めるのがいいのかも。簡単な調理体験を実際にしてもらうことで、将来の職業に対するイメージを持ってもらう機会にできれば・・・。

〈島村委員〉

この「自己点検の評価」は、教職員で実施と説明がありましたが、生徒や父兄への実施は？

→ あくまでも「自己点検」をして、その結果を含めて外部の委員の方のご意見を伺う、という流れになっているので、生徒や父兄には実施していない。ただ、生徒数が少ない学校なので、生徒とのコミュニケ―ションは十分に取れていると自負している。必要があれば父兄に連絡することもあるし、父兄の方から電話を頂くこともある。日々のコミュニケーションの中で学校運営に反映することが出来ることは取り入れている。

〈学校から質問〉

防災訓練、避難訓練等は実施しているが、防犯訓練を実施されているところはありますか？

→ 〈島村委員〉 前任校では実施していた。防災だけでなく不審者等へのということで実施

→ 当校は昼間は出入り自由な状態なので、今後の課題として検討。保護者の方からのご意見も様々なものがあり、それぞれに応じた対処・対応が必要となってくる。

従業員等の親から連絡があったりすることは？

→ 〈松岡委員〉 親からはないが、従業員間でのトラブル等の話は入ってくることがある。

〈島村委員〉

就職指導の体制も取れており、高い就職率とのことだが、その先（ミスマッチや離職等）に対して学校側が何ができるのかという項目があっても良いのでは？

→ 項目内容含めて、来年度以降に反映できるよう検討する。

〈山岡委員〉

「納付金は適切な額となっているか」の項目が「４」ですが、昨今の物価高で材料費等も上がり、学費等の変化はどうですか？

→ 昨年に改定をしたこともあり、現状では値上げはなかなか難しい。現在では安いものを探して自助努力で対応している。期中での追加もしづらく、実習授業の質や内容を落とさずに何とかやりくりしていくしかないのが現状。なんとか頑張る。

意見交換のあと、本委員会の議事の修了を濱窪教務部長が宣した。

島村学校長が議事進行への協力に対する謝辞を述べ、「令和6年度　RKC調理製菓専門学校　学校関係者評価委員会」は閉会した。